

令和6年度 (宮城県立名取支援) 学校の研究概要 ～令和7年1月末現在～

運営委員氏名 (島津 真樹)

研究テーマ	個に応じた指導力の向上を目指して 〈2年次／4年間〉 ～三つの柱に沿った個別の目標を明確にする「個別の目標シート」の活用を通して～
研究目標	〈2年次の目標〉 「個別の目標シート」を活用して授業を実践し、良い点や改善点を整理する。
研究内容・方法 研究計画等	1 全体研修「「個別の目標シート」を使ってみよう」の開催 「個別の目標シート」の三つのメリット ① 個別の目標と手立てが明確になり、個に応じた指導の充実につながる。 ② データを蓄積することで、次年度の授業づくりの資料となる。 ③ 個別の指導計画に転記できる。 2 学部ごとの学び合い（5つの研究授業） 3 研究に関する研修 ・7／26 専門性向上研修会（支援部と研究部の共同開催） 「実践事例から学ぶ応用行動分析学（ABA）」 講師：東北福祉大学教育学部教育学科准教授 和 史朗 氏 ・8／26 選択研修「夏の研修会」 講師：本校教員8名、6講座 ① 手話講習会 基礎編 ② ICT講習会 初級編 ③ 保護者支援と気になる行動への理解 ④ 障害のある生徒の進路指導について ⑤ 自立活動の具体的な指導について ⑥ 重度重複障害児の指導の実際 4 情報提供、情報共有 ① おすすめ図書による学びの広がり ② 研究だよりの発行
研究の概要 ・研究経過 ・研究成果等	・7月の全体研修では、各学部で小グループに分かれて、グループごとに学習指導計画を一つ選び、「個別の目標シート」の作成を行った。事後アンケートでは、多くの教師が「個別の目標シート」の三つのメリットを感じることができたと回答した。課題としてシートを作成することへの負担感や、目標の表記方法など細かい様式の改善案が挙げられた。また、小グループで個別の目標について話し合うことができたことについて、好意的な意見が多く見られた。 ・12月の学校訪問指導の指導案に「個別の目標シート」を添付し、研究との関連を図った。総合教育センターHPにある指導案の様式に添付できる形に「個別の目標シート」の修正を行った。結果として全体研修の事後アンケートで挙げられた目標の表記方法の改善にもつながった。

※本様式内で簡潔にまとめてください。なお、項目名や枠の大きさは任意に変更していただいて結構です。